

2025年3月12日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：住民健診受診者を対象とした生活習慣病発症予測マーカーに関する疫学研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

1982年から2018年に北海道二海郡八雲町で実施した住民健診（町民ドック）受診者

2. 研究目的・方法・研究期間

目的

八雲町では、1982年から毎年1回、名古屋大学や藤田医科大学などの施設と町が協力し住民健診（町民ドック）が行われています。その健診受診者（原則40歳以上の町民）を対象として、生活習慣病発症予測マーカーの樹立を目指します。

生活習慣病、特に動脈硬化、慢性腎臓病、脂肪肝、糖尿病等は、初期には、ほとんど自覚症状がなく、何らかの症状が現れた時には、病気がかなり進行している状態であることが多く、早期の予防対策が重要です。これまでの研究成果から、バイオマーカー単体での疾患発症予測や診断を行うことは難しいことが分かっています。そこで、血液や尿中のバイオマーカーを組み合わせることにより、生活習慣病の早期予防対策を樹立するために研究を実施します。さらに、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う生活の変化が、疾患発症や各種バイオマーカーに及ぼす影響について調査を行い、ポストコロナ時代の疾病予防対策樹立に貢献します。

方法

1982年以降の健診受診者を対象者としてまとめ、その後に対象者内で発生した疾病の罹患・死亡に関するデータと結合することにより、血液や尿中のバイオマーカー、健診結果およびアンケート調査から得られた生活習慣等と罹患・死亡との関連について解析を行います。また、血液や尿中のバイオマーカー、健診結果およびアンケート調査から得られた生活習慣等がどのように変化したかについても調査をおこないます。

研究期間

研究期間は2034年03月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1982年から実施している住民健診での結果等のデータ、アンケート調査で得られたデータ等を用います。

住民健診結果等のデータ：身長、体重、血圧、body mass index、体脂肪率、ウエスト、ヒップ、尿タンパク、尿糖、尿潜血、白血球数、赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値、血小板数、ヘモグロビン A1c、血糖、総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、nonHDL-コレステロール、AST、ALT、 γ -GT、ALP、カルシウム、リン、電解質、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、eGFR、CRP、PSA、心電図、眼底検査、認知機能検査、味覚・嗅覚検査、腹部・頸部超音波検査、運動機能検査、レントゲン検査、骨密度、医師診察結果、血液や尿を利用した各種バイオマーカー等
アンケート調査で得られたデータ：生活習慣や嗜好等の情報

4. 外部への試料・情報の提供

外部への提供はありません。

5. 研究組織

研究責任者

藤田医科大学 医療科学部 教授 鈴木 康司

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：鈴木 康司

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

藤田医科大学 医療科学部

TEL 0562-93-2537

7. 利益相反

開示すべき利益相反はありません。